

電気情報・応物系  
復興記念教育研究未来館

備品・什器類ご寄附のお願い

復興記念教育研究未来館創設委員会  
復興記念教育研究未来館基金創成委員会

2020年6月20日

電気情報・応物系  
復興記念教育研究未来館  
備品・什器類ご寄附のお願い

教職員・在学生・同窓生・旧教職員・ご賛同者・関係企業 殿

教育研究未来館創設委員会 委員長	教授 伊藤 彰則
基金創成委員会 委員長	教授 吉澤 誠
基金創成委員会 名誉委員長	名誉教授 畠山 力三
応用物理学専攻長	教授 安藤 康夫

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

大正8年の電気工学科創設以来、電気工学、通信工学、電子工学、応用物理学、情報工学を基盤として築き上げてきた世界最大規模の本学電気情報・応物系は、東北大学が掲げている研究第一主義と実学主義の理念を最も良く具現し、多くの独創的研究成果を生み出すと共に有為な人材を輩出して参りました。

平成23年3月11日に発生しました東日本震災では甚大な被害をこうむりましたが、これまで多くの方々から多大なるご声援とご支援を賜り、教育・研究環境の復旧に、ひとまず目途がついたところです。我々は、これを単なる復旧に留めることなく更なる復興を目指すため、すなわち、本学電気情報・応物系の伝統を発展的に継承するとともに、豊かな未来の国際社会を創成するために、平成23年6月、電気情報・応物系の教育・研究環境の一層の充実を目指した「復興記念教育研究未来館」(以下、未来館と略称)の創設を発案いたしました。

未来館の目的は、「Entry and Exit Strategies」の拠点を作ることにあります。すなわち、将来を担う優れた人材の発掘・育成へ向け、中高生を含む若者に対し、大学での研究の魅力と工学の神髄を発信するとともに、第一線で活躍する電気情報・応物系卒業者と現役学生の交流の場を提供し、産業界の動向や最先端技術の紹介および学生が進むべき指針と夢を与えることを目的とし、次のようなフロア構想をたてました。

- 1階には、これまで歴史的に重要な役割を果たしてきました101大講義室の代替として、国際会議も開催可能な300人収容の「復興記念ホール」を設けます。
- 1階から2階にわたる未来展示室では、ICT(情報通信技術)とエネルギーの未来を語り、民生・産業を支える電力やエレクトロニクス機器をはじめ、ロボット、自動車、航空宇宙、医療などの分野において、電気情報・応物系の技術が、いかに重要な役割を果たしているか、来るべき未来社会をどのように創造して行こうとしているかを訴えます。
- 2階には、産業技術セミナー室を設け、企業の技術者・研究者による実体験に基づくセミナーなどを開催し、学生が生きた産業技術を実感し、進路探究や将来のロールモデルの体得ができる場とします。さらに、グローバル交流カフェを設け、生徒・学生・留学生・教職員・卒業生・企業からの来訪者の皆様がリラックスできる雰囲気の中でくつろぎながら、立場や世代を越えて交流できる空間を提供します。

このような構想を定め、大学関係者はもとより、企業各位、卒業生などのご理解をいただいた上で、東北大学電気情報・応物系復興記念教育研究未来館基金(旧称:東日本大震災復興基金)へのご寄附をお願いして参りました。厳しい経済状況の中にもかかわらず、これまでに多くの企業の御賛同をいただくことができ、目標額の6億円に向けて総額4億円強までの基金を積み上げることができました。その結果、令和元年(2019年)での着工が正式決定され、令和3年(2021年)3月までの竣工を予定しております。これまでに御賛同いただいた企業ならびに皆様方に、改めて、心より感謝申し上げます。

しかしながら、目標額には未だ到達できておらず、このままでは未来館の所期の十分な整備を達成することが困難な状況になっております。そこで、教職員・在学生・同窓生・旧教職員・ご賛同者・関係企業の皆様に、未来館に設置する備品・什器類に関しましてご寄附を、別紙のとおり募集いたします。ご寄附いただいた備品・什器類には、皆様のお名前を刻みました銘板を貼付させていただき、末長く謝意を表し続けることいたします(匿名でも結構です)。

ご卒業年次が同じ同窓生の方々、あるいは、同じ職場の同窓生の方々が、団体としてお申込みされることも可能です。

未来館をより一層ご利用しやすいものとするために、是非ともご応募いただきたく、お願いする次第であります。

末尾ながら皆様のご健勝とさらなるご発展を祈念いたします。

敬具

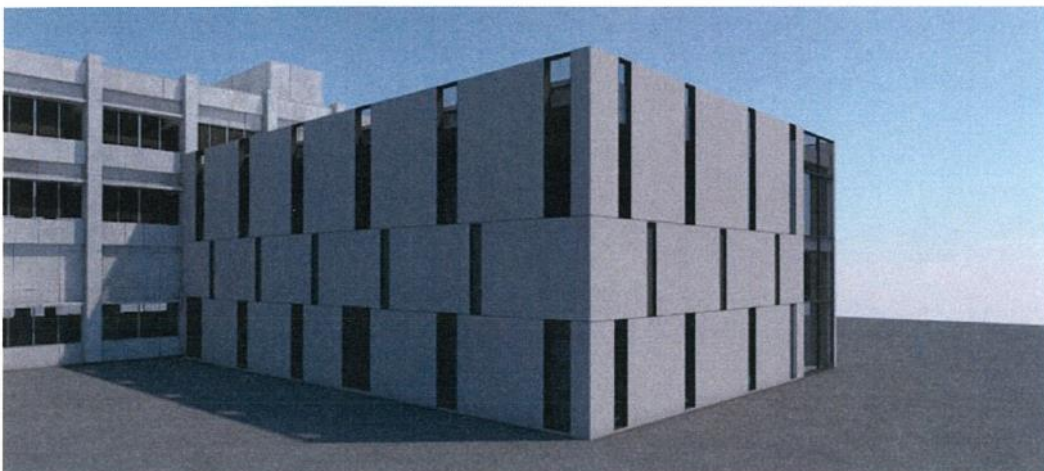
# 未来館完成予想図



南東面



EVホール



南西面

## 復興記念教育研究未来館創設委員会の組織

委員長	伊藤 彰則	東北大学大学院工学研究科通信工学専攻・教授 (電気情報・応物系主任専攻長, 基金創成委員会 委員)
名誉委員長	畠山 力三	東北大学 名誉教授 (基金創成委員会 名誉委員長)
副委員長	吉澤 誠	東北大学サイバーサイエンスセンター・教授 (基金創成委員会 委員長)
幹事	斉藤 伸	東北大学大学院工学研究科電子工学専攻・教授 (基金創成委員会 幹事)
委員	山田 博仁	東北大学大学院工学研究科通信工学専攻・教授 (将来構想委員会委員長, 基金創成委員会 委員)
	篠原 歩	東北大学大学院情報科学研究科システム情報科学専攻・教授 (基金創成委員会 委員)
	石山 和志	東北大学電気通信研究所・教授 (基金創成委員会 委員)
	佐久間 昭正	東北大学大学院工学研究科応用物理学専攻・教授 (基金創成委員会 委員)
	梅村 晋一郎	東北大学 名誉教授 (基金創成委員会 名誉副委員長)

### 連絡先:

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05

東北大学工学部・工学研究科、情報科学研究科、医工学研究科

復興記念教育研究未来館創設委員長 伊藤 彰則

TEL: 022-795-7084

FAX: 022-795-7084

E-mail: aito@spcom.ecei.tohoku.ac.jp

## 未来館 備品・什器類のご寄附(募金)について

### 1. 目的

広く教職員・在学生・同窓生・旧教職員・ご賛同者・関係企業様からご寄附を募り、新築される未来館内の備品・什器類等を整備し、電気情報・応物系の創造的復興を推進するものです。

### 2. 期間

2019年12月1日から2020年9月30日まで(締め切りを延長いたしました)。

### 3. 寄附対象

次の備品・什器類等の購入に相当するご寄附を募ります。特別なご希望がある場合を除き、復興記念教育研究未来館創設委員会において選択させていただきます。また、事前のご相談により現物(搬送費・設置費を含む)のご寄附でも結構です。

- 椅子・テーブル・ソファ
- 食器棚・食器・茶器
- その他の備品
- 未来館の維持、運営に要する経費

### 4. 銘板

基本的に、ご寄附いただいた備品・什器類には、皆様のお名前を刻みました銘板を貼付させていただきます。末長く謝意を表し続けることといたします(20口以上のみ)。ご希望により匿名でも結構です。

### 5. 方法

1口1,000円とし、何口でも結構です。銘板への記載は**20口以上のみ**といたします。

- 1) 寄附金の受け入れ窓口は、「国立大学法人東北大学大学院工学研究科」(特定公益増進法人認定)です。
- 2) 別紙の寄附申込書を下記宛お送りください。電子ファイルへの直打ち、スキャンしたpdfファイル添付でも結構です。
- 3) 受け取り次第、お振込み方法のご案内をいたします。
- 4) ご案内に従って振り込みをお願いいたします。誠に恐縮ですが、振込手数料はご負担願います。
- 5) 振込確認後に、希望がある場合に限り領収証を郵送いたします。
- 6) 取扱期間 2019年12月1日～2020年9月30日

### 「寄附申込書」送付先：

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05 東北大学 電子情報システム・応物系内

基金創成委員長 吉澤 誠 宛

(サイバーサイエンスセンター・教授)

E-mail: [yoshizawa@cc.tohoku.ac.jp](mailto:yoshizawa@cc.tohoku.ac.jp), 電話: 022-795-7128, FAX: 022-795-7139,

申込用紙の電子ファイル(Wordファイル)をご利用する場合には、下記にアクセスしてください。

「東北大学 電気情報系」ホームページ:

[http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei\\_web/](http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/)

「東北大学 電気情報系 同窓会」ホームページ:

<https://www.ecei.tohoku.ac.jp/dousokai/>

(専用の返信用封筒を既にお持ちの方は、差出有効期限をお確かめください。)

記入日 令和 年 月 日 (個人・団体・企業用)

## 東北大学電気情報・応物系復興記念教育研究未来館備品・什器類寄附申込書

東北大学 工学部・工学研究科, 情報科学研究科, 医工学研究科  
復興記念教育研究未来館創設委員長  
教授 伊藤 彰則 殿

東北大学電気情報・応物系復興記念教育研究未来館備品・什器類寄附の趣旨に賛同し, 下記の通り寄附を申込みます。

記

口数: \_\_\_\_\_ 口 金 \_\_\_\_\_ 円

### 個人の場合

ご自宅住所: 〒

ご氏名:

ご関係: 教職員・在学生・同窓生・旧教職員・ご賛同者・関係企業・その他 (○で囲む)

(教職員・在学生・同窓生・旧教職員の場合)

在学・現任教職員・旧教職員・卒業・修了 (○で囲む) 最終在籍年: (西暦) \_\_\_\_\_ 年

在籍時の所属・職名 (「旧電気工学科」など, 在学中の場合は学年も):

(複数の場合や説明が必要な場合にはそれらを空欄に記載してください。)

電話番号:

電子メールアドレス:

### 団体・企業の場合(企業の場合, 押印の上, 電子メールではなく郵送をお願いいたします。)

団体名・企業名: (例: ○○株式会社, 旧電気工学科昭和○年卒業生一同, 2019年度電気情報物理工学科○年生有志一同など)

### 申込者・代表者

住所: 〒

ご所属:

ご氏名: \_\_\_\_\_ ㊟ 【企業の場合, 押印をお願いいたします。】

電話番号:

電子メールアドレス:

### 銘板への掲載(所属等が複数の場合や長文になるような場合, 表記を省略させていただきます)

希望する・希望しない (○で囲む)

希望する場合の記載内容:

氏名・団体名・企業名・卒業年・修了年・最終在籍年・所属名 (該当するものをすべて○で囲む)

### 領収証

希望する・希望しない (○で囲む) (振込確認後, 全員に御礼状をお送りします。)

希望する場合, 領収証の宛名の詳細等:

記入日 令和 年 月 日 (研究室用)

## 東北大学電気情報・応物系復興記念教育研究未来館備品・什器類寄附申込書

東北大学工学部・工学研究科  
情報科学研究科, 医工学研究科  
復興記念教育研究未来館創設委員長  
教授 伊藤 彰則 殿

東北大学電気情報・応物系復興記念教育研究未来館備品・什器類寄附の趣旨に賛同し, 下記の通り寄附を申込みます.

記

口数: \_\_\_\_\_ 口 金 \_\_\_\_\_ 円

### 研究室の場合

研究室名: (例: 工学研究科〇〇・〇〇研究室, 電気通信研究所〇〇・〇〇研究室など)

\_\_\_\_\_ 研究室

銘板記載のための年度: 令和 \_\_\_\_ 年度

### 申込者・代表者

住所: 〒

ご所属:

ご氏名:

職名:

電話番号:

電子メールアドレス:

### 銘板への掲載

基本的に, 上記の「〇年度 〇〇研究科〇〇・〇〇研究室 一同」となります.

それ以外の表記を希望される場合には, 下に記入してください. (25 文字程度を想定しています.)

### 領収証

希望する・希望しない (○で囲む) (振込確認後, 全員に御礼状をお送りします.)

希望する場合, 領収証の宛名の詳細等: